



高西小だより

学校教育目標

夢を切り拓く

心豊かで

たくましい子ども

H23, 10, 5(水) 校長:古屋 N012

世界の人口 今月には70億人を突破！ 40年後には91億人！

現在の世界の人口は、1分に約137人、1日では約20万人、1年では約7千万人増えています。国別では、1位が中国で13億人を超え、続いてインド、米国。日本は、約1億3千万人で第10位です。しかし、子どもたちが40代～50代になる40年後は、世界の人口は何と91億人、インドが中国を抜いて第1位(約16億人)となり、日本は、人口が減少して第17位になると予想されています。

人口増加で心配されているのが「食料危機」ですが、この「食料危機」という問題に対して、日本人の多くは喫緊の課題と捉えていません。むしろ、テレビでは、どのチャンネルを回しても、食べ歩きや何食食べられるかなど飽食時代を象徴した番組が多々あります。しかし、世界に目をやると、世界の飢餓人口は10億人、毎日3万人が餓死しているとも言われています。

「食料危機」には、その要因があります。世界中で生産されている食料を世界中の人一人ひとりに公平に分配すると飢える人はいません。しかし、食料価格の高騰が途上国との格差を大きくし、食べられる人と食べられない人をつくりだしているのです。特に、肉食の増加は、「食料危機」の大きな要因でもあります。それは、**牛肉1kgを作るためには10kg以上の穀物が必要**となるからです。**牛肉で養える人を1人とすると穀物では10人以上**の人数になります。日本が年間20万トン以上のトウモロコシを輸入しているアルゼンチンでは、1000万人もの人々が飢餓にあえいでいるという報道もあります。

また、去年、今年と記録的な猛暑日で象徴されるように地球の環境変化に伴う気候変動も大きな要因でもあります。世界中至る所で起こっている洪水や干ばつ、砂漠化、地球温暖化を原因とする海面上昇による土地面積の減少などは、食料生産に大きな影響を与えているのです。そして、3月11日に起こった東日本大震災と原発事故による放射能汚染もまた農業や酪農に大きな影響を与えました。つまり、これら事実から「環境問題」と「食料危機」は切っても切れない深い連鎖関係があるといえます。

これらの問題は、日本人だけ、1家庭、1地域の取り組みだけでは解決できないことです。世界中の人々、全ての産業界の足並みの揃った行動が必要です。しかし、40年後50年後の子どもたちの生活環境を豊かにするためには、私たちが足元から出来ることを今、確実に日々実践することです。二酸化炭素削減(温室効果ガス削減)のためのエコキャップ集め、節電、ゴミの減少、3R運動【Reduce(削減) Reuse(再利用) Recycle(再利用)】、緑のカーテン……。そして、子どもたちが将来、その取り組みの成果として、世界的視野に立って実践的行動ができる人になるよう、家庭、学校、地域、関係機関が連携して育成していきたいものです。

初の鎌倉小学校との交流！来年の修学旅行でまた会おうね！

9月22日(金)、5年生27人が横浜国立大学附属鎌倉小学校5年生、115人と交流会を持ちました。きっかけは、鎌倉小学校が20日から2泊3日で清里のキープ協会で宿泊合宿を行うあたり、その最終日に「今日から友だち、海の子山の子、学校交流 in ハケ岳」をテーマに是非交流会を持ちたいと申し出があり、今回の交流会が実現しました。

事前にお互いの写真や好きなことなどを載せたプロフィールを送り、「どんな子かな」と興味関心を高める取り組みをしました。そして迎えた当日、互いの学校紹介をし、一緒にゲームをしたり昼食をとったりしましたが、西小の5年生は、鎌倉小学校の大人数に圧倒されることもなく、堂々と発表したり笑顔でゲームに参加したりしていました。そして、別れ際には、別れを惜しむかのように直前まで語り合う姿が見受けられました。鎌倉小学校は、鶴岡八幡宮の隣にあります。来年の修学旅行の鎌倉散策の時に、また再会できたらといいなと約束をして別れました。



「西小の紹介をします！」



すぐにグループの輪ができました。



好きなことは何？



また会おうね！バイバイ！

東北まで届け！2年目を迎えた「菜の花プロジェクト」実施！

9月27日、絶好の秋晴れの中、昨年初めて実施した「菜の花プロジェクト」を今年も引き続き行いました。全校児童191名と北杜市観光協会高根支部、小池地区長寿者会、ハケ岳やさいクラブ、中北農務事務所の総勢約240名の方々が参加しました。今年も春先に車を止めて写真を撮ったり絵を描く人を見かけましたが、来年も黄色に輝く絨毯は、たくさんの人々の心を温かくすることでしょう。



たくさんの関係者が参加しました。



山本さんが分かりやすく説明してくれました。「飛ばないように輪ゴムでとめるよ。」



黄色の風船は菜の花のようでした。



「ここにもう少し！」



「これが菜種油だよ。」

今年も豊作！「田んぼの学校」の稲刈りが行われました！

9月30日、講師の山本林仁さんと小池地区5名の農家の方々にご指導して頂きながら、5年生が稲刈りを体験しました。最初に、山本さんから、牛に引かせて土をほぐして平らにする「まんが」を使って、刈った稲を束ねるすげ縄の作り方を実演してもらい、その後、そのすげ縄を使って刈りとった稲を束ねました。そして、昔ながらの間伐材と竹で作った「うし」に刈り取った稲をみんなで架けました。次は脱穀です。今年も大豊作になりそうです。



「刈る」「束ねる」を分担しました。



「うし」にたくさんの稲束を架けるには？



バインダーは刈りとりが速いね！

理科自由研究発表会(第2支会)

9月29日、泉中学校で各学校の代表児童が集まって、理科自由研究発表会が行われました。西小からも代表となった児童が参加しました。

4年-浅川アルジュン「恐竜の研究」 山本佑「ペン色に含まれる色について」

5年-清水千夏「よごれのつき方、落とし方」 須賀海斗・中村健人・和田賢海「カビ」

6年-浅川拓海「左右交互に進む虫」 伊藤菜里「トノサマガエルの生態の研究」



緊張の中にも堂々とした発表でした！